

# NCA ニュース

2021年5月発行 No. 45

長崎県キャンプ協会

URL: <http://nagasaki.camping.or.jp/>

E-mail: [nagasaki@camping.or.jp](mailto:nagasaki@camping.or.jp)

事務局 〒851-3505

西海市西海町太田和郷 4600-10

長崎県立西彼青年の家 気付 長崎県キャンプ協会

TEL 090-9072-4602

FAX 0959-32-2194

## 事務局から

### 1. 令和3年度年次総会についての報告

令和3年度年次総会は書面での議決とし、令和3年5月8日までに書面表決書をご提出いただきました。すべての議案について、過半数の賛成をもって承認可決されましたことを報告いたします。

### 2. 研修会の報告について

4月24日(土)に2021年度都道府県キャンプ協会事務局担当者研修会(オンライン)が開催され、辻会長が出席しました。5月8日(土)に2021年度日本キャンプ協会課程認定団体研修会(オンライン)が開催され村上養成委員長が出席しました。

### 3. 空中回廊作りの中止について

今年度も6月5日(土)～6日(日)に西彼青年の家で行われる「空中回廊作り」で、講師の派遣依頼が長崎県キャンプ協会に届いておりましたが、西彼青年の家より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止するとの連絡がありました。

### 4. 共催事業について

今年度も7月3日(土)～4日(日)に西彼青年の家との共催事業「How to キャンプ！」を開催します。

多くの方のご参加をお待ちしております。(要項も同封しております。)

長崎県キャンプ協会も主催者です。みんなで協力してイベントを盛り上げましょう。

キャンプ協会会員以外の方々への参加の呼び掛けも、併せてよろしくお願いいたします。

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止等の可能性があります。)

↓ FAXでお申し込みの方はこちらをご利用ください。

FAX 0959-32-2194

7月3日(土)～4日(日)の夏の自然の学校「How to キャンプ！」に参加を申し込みます

ふりがな  
氏名

電話番号

生年月日

(保険へ加入しますので、生年月日のご記入をお願いいたします。)

## 5. アンケートについて

広報誌 3 月号 (No.44) にて、会員の皆様にご協力をお願いしておりましたアンケートについて報告をさせていただきます。皆様からいただいたご意見は、今後検討し、具現化できるようにしたいと考えております。

ご多忙中にも関わらず、ご意見をいただき、本当にありがとうございました。

### Q.2 コロナ禍の中、これから先の催しものについて、「こんなことをやってみたい！」

- ・ひとりでキャンプする人も増えているので、「おひとりさま、キャンプデビュー」と称して、最小限持っていたら便利で役に立つものや注意点や一人のできる簡単料理など、ターゲットを絞っての企画。100 円ショップでもキャンプ用品を取り扱っているの、そういった物も利用して手軽にキャンプを紹介する。
- ・グリーンウッドワーク。新しい生活様式に対応したキャンプ。
- ・竹ご飯を炊く。竹林整備についての講話。季節の野草で食事作り。
- ・テント泊の山登りキャンプ。
- ・まったり、のんびりなキャンプ。
- ・飯盒炊爨。火おこし。
- ・デイキャンプ。(キャンプ用具等の説明。テント設営。火おこし。簡単アウトドアクッキング。)
- ・ソロキャンプのすすめ(各人にキャンプ用具を与え、集合学習後各自散らばって好きなところでテント泊。)
- ・ファミリーキャンプのすすめ。少人数でのキャンプのすすめ。障がい者施設との合同キャンプ。
- ・災害に備えた今あるものでできるメニュー(野外料理的)や避難所でできる遊びを参加者と考えながら実践できる、体験してみるキャンプ。(トイレや寝場所作りも。)
- ・子ども 3~4 人に一人のスタッフが付き、子ども達の企画による遊びにスタッフがとことん付き合い、サポートするキャンプ。秘密基地作り、ソロキャンプなど子どもが企画するものは幅広く体験できそう。(スタッフの事前準備、共通意識の徹底が大変だが、ハプニングが多くなってスタッフも楽しめる。)
- ・各会員がそれぞれの場所でキャンプをして写真を事務局に送り、情報共有する。防災時に役立つような食事を各会員が作り、写真を事務局に送り、防災食事コンテスト大会。
- ・滑車作りプログラム。

### Q.3 その他(ご意見等)

- ・コロナでキャンプをする人がとても増えている。SNS でも毎日のように取りあげられ人気がある。協会の活動を知らない人も多いので、協会からもっと発信することを進めていくべきである。県内の穴場のキャンプ場や安全で正しいキャンプ、エコで手軽にお金をかけずに自然を大切にできるキャンプなどアイデアを出して、どんどん発信するべきある。
- ・コロナ禍で大変ではあるが、こんな時だからこそキャンプや野外活動の有用性を社会に示せるようにしたい。
- ・会員向けに何かしたい。
- ・各市町村で身近な仲間とキャンプ活動ができればよい。
- ・事業の場所が西彼青年の家の場合、公共交通機関が不便である。